MAKE JAPAN GREAT AGAIN

2025年5月

青空機械新聞

業界ニュースとトレンド紹介

発行
第11号

明るい兆しか!?

5月はG.W.の為にスロースタートでしたが、お仕事は増加傾向にある会社様が増えている印象を受けます。5月中旬に発表されました日米の3月機械受注数字も好調で、約2年に渡る低迷期からの転換点を迎えたのではと期待しております。

しかしながら、トランプ関税、日産ショックの影響がどこまで影響するかが非常に気がかりです。

日本国内受注数字

2025年3月受注額：**約492億円**
※鍛圧・板金機械は含まず。
前月比**45.9%増**、前年同月比**同じ**となりました。

多くの会社が決算を迎える3月ということで、毎年かけこみ需要が多くなる月ではありますが、**前月比約1.5倍**という驚異的な伸びを見せました。

ほぼ全ての業種で前月比プラスになりましたが、建機向けは**3.7倍**、電気機械(家電等)が**2倍強**、自動車関連も**1.7倍**と大きく増加しました。

外需も含めた全体の受注額も**30カ月ぶり**に**1,500億円**を超え、全体的にも景気の回復が伺える結果となりました。

新潟県内でも大きな格差がありますが、仕事が増えているとの声が多くなっている印象を受けております。

発行元 会社概要
会社名：株式会社青空機械 (あおぞらきかい)
代表者：青木 佑典(あおき ゆうすけ)
主な事業内容：工作機械販売
住所：新潟県新潟市東区中山4-4-13-3
TEL：070-8303-6632
FAX：050-3588-8241
Email：contact@bsmt.co.jp

2025年3月 米国工作機械受注について

2025年3月米国機械受注額**$515.8million**(約748億円／＄1＝￥145換算)
前月比**33.8%増**、前年同月比**+20.5%**となりました。

3月の米国国内の工作機械受注は日本市場同様、前月比で大幅にプラスとなりました。

トランプ関税の影響は未知数…。

航空宇宙分野からの受注は過去最高を記録し、受注台数も2023年12月以来最大となりました。また、同分野での稼働率もボーイング社ストライキ前の水準を初めて超えました。

また、一次二次下請けからの受注は3月の全体的な伸びの勢いはありませんでしたが、その下請けである中小企業からの受注が増えました。これは仕事が上流から下流に流れてきた良い兆候と見ることができます。

2025年の第1四半期の受注合計は**$1.26billion**(約1,827億円／$1＝￥145換算)と前年同期間比で**12.4%増**と景気の強さを示しており、約2年に渡る不景気から転換だと期待したいですが、ころころ変わるトランプ政策が将来の不確実性を生み、2025年の堅調な機械需要の回復に影響を与える可能性が残されております。
(AMTレポートより)

日系工作機械メーカーの中には対米輸出を保留にしている会社もあります。現在は一時的に関税が10%となっておりますが、機械が米国に到着している頃にはどうなっているかが不透明な為です。その為、米国輸出を予定していた機械が一時的に滞留しており、日本国内向けに短納期でかつ魅力的な価格で購入できる可能性があります。

2025年4月 米国自動車販売台数(新車)

2025年4月米国新車販売台数は前年同月比**9.9%増**の**146万3,493台**でした。

米国は4月3日より全ての乗用車及びライトトラックの輸入に25%の追加関税を発動しました。4月29日には米国で生産する自動車メーカーを対象に輸入自動車部品への25%関税の負担を軽減する為の大統領令を発表しましたが、既に一部の米国自動車メーカーは6月以降の値上げを検討しているとの報道も出ており、関税による混乱が伺えます。

貿易戦争の長期化で輸入コストの増加や在庫数の減少が現実になった場合は、販売価格の値上げは必至です。このような先行きへの懸念から、4月の新車販売は前年同月比でほぼ二桁増となりました。

4月中旬の米国内新車総在庫台数は257万台(3月上旬は299万台、3月中旬は266万台)でした。

3月末のブランド別在庫日数は、リンカーン85日、インフィニティ82日、ラム78日で在庫が多めとなっていました。一方、日系ブランドでは、トヨタ23日、レクサス22日、ホンダ37日、日産38日、スバル25日、マツダ42日、三菱33日でした。

好調な販売が続いている韓国ブランドは、現代47日、ジェネシス45日、起亜38日でした。

各社在庫の積み増しを進めていたとの情報がある一方、ステランティスは4月にイタリアからの出荷を停止、ジャガー・ランドローバー(JLR)も4月の出荷を一時停止、アウディは4月2日以降米国に搬入される全ての車を港に留め置くなどの緊急対応をとっており、輸入車を中心に今後の在庫台数の推移が注目されます。

(マークラインズより)

一流マシニングセンタメーカー『キタムラ機械』オススメ即納機情報

当社がオススメするマシニングセンタメーカーのキタムラ機械(富山県)の即納機情報をお届けいたします。
それぞれ限定1台ずつですので、気になる方は即、お問合せを頂けます様お願いいたします。

オススメその1

門形マシニングセンタ／BRIDGEcenter-6G
テーブルサイズ：900×1,800mm
ストローク(XYZ)：1,530×1,095×710mm
主軸：BT40(ギヤ駆動)、20～20,000rpm
スライド：角型摺動面
ATC：60本
オススメポイント↓
一般的な7番サイズのC形コラム立形MCよりも省スペースでありながら、ふところが1mを超える大きな加工領域。
更に他メーカーの同形状の機械はリニアガイド機ですが、本機はすべり案内、主軸もギア主軸を採用しており、他社とは剛性が違います。また、ギヤ主軸にも関わらず20,000回転まで回すことができ、まさに1台で荒～仕上げまで出来る頼もしいマシンです！！

オススメその2

同時5軸制御立形シニングセンタ／MYTRUNNION-4G
テーブルサイズ：φ400mm
主軸：BT40、40～15,000rpm
ATC：100本
オススメポイント↓
省スペース、ロータリーテーブルの割出を含んだ加工精度と剛性が最大のセールスポイント。全軸フルストロークでの位置決め精度±2μm、繰り返し精度±1μmと精度にトコトンこだわった1台です。
同時5軸制御時での最大加工サイズがφ550×400mmと大きく設定されております。

補助金、その他機械設備に関してご質問等がございましたら、当社までお問合せください。

TEL：070-8303-6632
FAX：050-3588-8241
E-mail：aoki@bsmt.co.jp

青空機械　検索

また、新規の機械購入以外にも既存設備のアフターメンテンスについてもお手伝いをさせてください。
例)今は存在しないメーカーの機械修理、現在の窓口商社を変えたい等々。
まずはお気軽にご連絡ください！！

青木社長の略歴

1986年6月生まれ(満38歳)
2009年　㈱兼松KGK 入社
2010年
↓　同社新潟営業所勤務
2016年
2016年　日鉄物産マテックス㈱ 入社
2017年
↓　日鉄物産㈱ 米国法人出向
2020年
2021年　ユアサ商事㈱ 入社
↓　同社新潟支店勤務
2024年
2024年　㈱青空機械 設立

発行元：㈱青空機械